

# 学力向上先進地域視察研修 in 岐阜県岐阜市

## グループ別テーマ「学力の基盤づくりとなる取組」

### 取組の実際

#### ○ 集団づくり(学級経営)

「学級経営が学力向上の基盤である」という認識を持って教育活動を行っている。学級目標が学級の行動指針として機能している。学校全体としても「あいさつ、そうじ、整理整頓」(小)、「挨拶、掃除、合唱」(中)のように具体的な言葉で目指すべき姿が具体化され、共通理解されている。小中9年間を通した学習規律の徹底は、集団づくりの基盤を成し、仲間と学びあう授業を支え、学力向上につながっている。

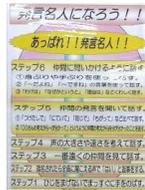


#### ○ 学習規律

学習規律においては、小中一貫して9年間同じスタイルで指導を行っている。

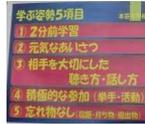
##### 【基本方針の徹底】(小学校)

学習規律の確立は「授業の基本」という考えから、学習指導部が3ヶ月ごとに児童の実態を基に、育てたい力を焦点化した基本方針を出し、職員や児童の学習規律に対する共通理解を図っている。



##### 【学級の授業評価「5」をめざす取組】(中学校)

教科の係長が学級委員と同等の責任を与えられ、係長が授業前2分の学習を進めたり、今日の学習のねらいや注意を示すことで、生徒自身も授業への構えをつくっている(自治活動による主体的な活動)。



### 今後の取組

#### 【生徒指導担当主幹教諭として】

- 「凡事徹底」=「当たり前」のことに「当たり前」に行うことを教師間で共通理解し、徹底していく。さらに「何を当たり前に行うのか」ということを具体的に示し、節目ごとに全校集会等で評価する場を設定することで、日々の実践を振り返り、共通の目標に向かうチーム力を高める。
- 学級・学年での取り組みにおいて、個人や学年の実践に任せるのではなく、学校全体で共通実践事項を設定することで、共通目標に向けた学級の取組の差を小さくし、生徒指導や教科指導における指導レベルを整える。

#### 【学級担任・学年主任として】

- 学級担任・学年主任が育てたい力を明確にした上で、児童生徒の実態を見取り、課題を明らかにし、それらをどのようにして育てていくのかという基本方針を全職員で共有していき、児童生徒の実態に即した指導や授業を展開する。

## 共通テーマ「授業づくりについて」

### 取組の実際

#### ○ 全ての指導の土台にある小中共通して行う「3つの見届け」

児童生徒の「できた」「わかった」を大切に、学習状況を把握するために、毎時間、小中共同して「3つの見届け」という視点を導入している(単元の進度に合わせて3つの見届けを焦点化し、本時で目指す姿に確実に近づけている)。この「3つの見届け」を基にして、毎時間、課題解決型の授業づくりを行っている。

- ① 実態の見届け…授業前の子どもの実態を見極め、授業での課題化につなげる。
- ② 学習状況の見届け…授業中の一人ひとりの様子を把握し、その子に必要な指導・支援につなげる。
- ③ 定着状況の見届け…授業終末にまとめ・ふりかえる場をきちんと設け、終末の指導につなげる。

#### ○ タブレットを活用した授業

指導案に明記した「3つの見届け」から見取った児童生徒の実態や課題への対応、学習内容の定着度等を確認するために、タブレットの活用を位置付けた授業を展開している。また、学力低位の児童生徒に対する「読む」「書く」「計算する」の反復練習のための支援としても有効に機能している。さらに、授業者が、事前に十分な教材研究を行い、活用させたい場面を計画しているため、児童生徒が自分の課題に対して意欲的に学習に取り組むことができている。



### 今後の取組

#### 【教務担当主幹教諭として】

- タブレットを活用した授業が、いかに学力低位の児童に対して有効であるかを、校内研修等で啓発していく。
  - 年間カリキュラムにおいて、タブレット活用の授業を位置付ける。授業中におけるタブレットの活用については、学習内容の習熟において有効活用ができるように、単元や授業の中での活用場面を十分に吟味を行い計画する。
- #### 【校内研修担当者として】
- 学習の定着状況の実態と児童生徒を見取る具体的な視点をもつために、全国学力・学習状況調査等をもとに「身に付けさせたい力」や「各教科で育てたい見方・考え方」を校内で整理し、共通理解を図るための場を設ける。
  - 授業の中で生徒を見取る視点や方法を研修し、全学年・全教科でその日常化を図る。

### まとめ

- 義務教育9年間を見通した、中学校区で一貫した学習規律のスタイルを定着させるためには、小中の教師が相互に連携し、児童・生徒の育成したい力を共有することが大切である。
- 教師間の指導格差をなくし、児童生徒が落ち着いた学校生活を送るためには、学校方針を全職員が共通理解し、同じ価値観、同じ手法で生徒指導や教科指導を行うことが大切である。
- 「できる喜びや感動を味わわせる」授業づくりのためには、岐阜市内統一の取組である「3つの見届け」を参考にし、「問題解決型の授業」を展開していくことが大切である。